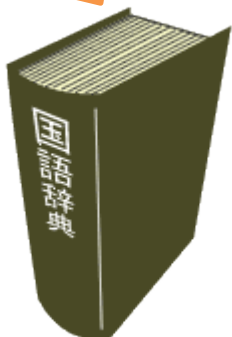


国

語

手がかりとなる言葉に着目
すれば、必ず答えを導き出
すことができるはずです。
よく読んで解いてみよう。



中
学
校
年
組

氏
名

1 文章を推敲する

月 日

松本さんの学級では、新入生に向けて、これからの学校生活の参考となるように「今、夢中になっていること」という題で文章を書くことになりました。次は、【松本さんが書いた下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【松本さんが書いた下書き】

今、夢中になっていること、それは部活動です。

初めて

中学校に入学して、~~始めて~~吹奏楽部の生の演奏を聞いたとき、体中に響いてくる音の迫力に圧倒されました。そして、迷わず吹奏楽部に入部しました。その後、私の担当はフルートに決まりました。それからは、自分でも驚くほどフルートに夢中になっていいます。

先日、そばで聞いていた友達から「うまくなったね。」と言いました。そのとき、音が出るまで苦勞したけれど、あきらめずに続けていてよかったですと思いました。今、私たちは全国大会出場に向けて練習していて、三年生にとって最大の目標です。皆さんも中学校生活の中で、自分が全力で打ち込めることを探してみてください。きっと毎日が楽しく充実したものになるはずです。

一 下書きを読み直した松本さんは、……線部「そばで聞いていた友達から『うまくなったね。』と言いました」の部分の「友達から」と「言いました」との言葉の関係が不適切なことに気付きました。「友達から」との関係が適切になるように、「言いました」の部分を書き直しなさい。

友達から「うまくなったね。」と

二 線部「今、私たちは全国大会出場に向けて練習していて、三年生にとって最大の目標です。」には二つの内容が含まれています。意味は変えずに二つの文に分けて書きなさい。なお、二文めには「目標です」に対応する主語を補いなさい。

目標です。

3 文章を読み合い、評価する

月 日

中学校の国語の授業で、「情報化社会を生きる私たちに必要なこと」というテーマの意見文を書いています。目標は、「構成を工夫して、自分の意見を明確に述べること」です。今日の授業では、ほぼ完成した意見文をグループ内で読んで話し合い、それを参考に^{すいこう}して自分の意見文を推敲することになりました。次の文章は、同じグループの小森さんと村上さんと村上さんが書いた意見文です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【小森さんの意見文】

1 現代は、メールが普及し、便利になっている。昔に比べると、気軽に素早くメッセージをやりとりできる時代になった。しかし、私たちは、こうした伝達手段によって、お互いを深く理解し合えていると言えるだろうか。逆に不十分なメッセージによって、誤解が生まれるようなことさえあるのではないだろうか。

2 先日、友達からこんな話を聞いた。ちょっとしたことでもけんかしてしまった仲の良い友達から「もう終わりにしようよ。」と書かれたメールが届いたのだそうだ。けんかをするのはもう終わりにして、また仲良くしようという意味なのか、もう友達つきあいは終わりにしようという意味なのか、悩んだと言っていた。

3 手軽なメールは、確かに便利である。しかし、そのためにお互いに直接会って話し合うようなコミュニケーションが軽視されるのでは意味がないと思う。

【村上さんの意見文】

情報があふれている社会で私たちに必要なものは、必要な情報を選択する力と、情報の正しさを判断する力だと思う。この二つの力がなければ、私たちは、情報に流されてしまうのではないだろうか。私には、一年生の時に失敗してしまった経験がある。夏休みの自由研究で「絶滅のおそれがある野生動物」というテーマのレポートを作成し、提出した。ところが、参考にしたインターネットのホームページの内容が正しいかどうか疑問だという指摘を先生からいただいたのだ。私は、改めてホームページを確かめてみた。すると、五年前から一度も更新されていないものや、地球上の一部の地域のことしか取り上げていないものがあつた。情報を何も考えずに受け入れてしまうことは、とても危険である。情報をうのみにせず、本当に必要なものを選び、正しく判断できる力こそ私たちに求められているものなのだ。

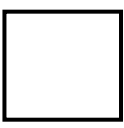
(1から3は、段落の番号を表します。)

一 小森さんは、【村上さんの意見文】を読んで、自分の意見文の書き出しに次の一文を書き加えることにしました。

情報化社会と呼ばれる現代だからこそ、お互いに顔を合わせてのコミュニケーションを大切にすることが必要だ。

このことから、小森さんが村上さんの意見文をどのように評価したことが分かりますか。次の1から4のうち、最も適切なものを一つ選び、□の中に記号で答えなさい。

- 1 村上さんの意見文は、読み手に問いかけるように自分の体験を紹介しているため、読み手の共感を誘う点が良い。
- 2 村上さんの意見文は、多くの人が感じる疑問から書き始めているため、読み手が話題をとらえやすい点が良い。
- 3 村上さんの意見文は、身近な例を挙げて説明しているため、書き手の考えが読み手に具体的に示される点が良い。
- 4 村上さんの意見文は、結論を述べてから論を展開しているため、書き手の考えが読み手に明確に伝わる点が良い。



二 村上さんは、【小森さんの意見文】を読んで、内容ごとに段落を分けている点が良いと思いました。そこで、小森さんの書き方を参考に段落を分けることにします。次の文章は、そのことを説明したものです。あとの1から4のうち、アからカの組み合わせとして最も適切なものを一つ選び、□の中に記号で答えなさい。

【小森さんの意見文】の三つの段落は、
分けられている。

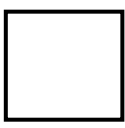
ア 「問題提起」、「まとめ」、「具体例」
イ 「問題提起」、「具体例」、「まとめ」
ウ 「私には、一年生の時に」
エ 「私は、改めて」

これにならうと、【村上さんの意見文】は、
の前と

オ 「情報を何も考えずに」
カ 「情報をうのみにせず」

の前で改行して、三つの段落に分けると良い。

- 1 ア ・ ウ ・ オ
2 ア ・ エ ・ カ
3 イ ・ ウ ・ オ
4 イ ・ エ ・ カ



4 情報を整理する

月 日

堀川さんは、「発光ダイオード」について調べることにしました。次の文章【A】は、堀川さんが読んだ本の一部です。①から⑥は、段落の番号を表します。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】

① 最近、新しい信号機が増えてきたことに気付いているだろうか。これまでの信号機と違い、新しい信号機には小さな粒のようなものがたくさん付いている（写真参照）。この小さな粒は、発光ダイオードというもので、省エネルギーという点などから、近年様々な分野で使われるようになってきた。発光ダイオードは「ろうそくやランプなどの炎」、「白熱電球」、「蛍光灯」に続く、次世代の明かりとして注目されている。この発光ダイオードの特徴について詳しく見てみよう。

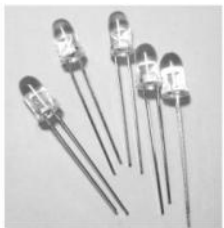
② まずは、消費電力が少ないということが挙げられる。発光ダイオードと白熱電球を比較して考えてみよう。白熱電球は、(注)フィラメントに電流を流して光を発生させている。一方、発光ダイオードは、半導体に電流を流して光を発生させる。その際、どちらも熱が発生するのだが、白熱電球に比べて発光ダイオードの方が、発生する熱が少なく済み、白熱電球よりも効率的に、電気エネルギーを光に変えることができるのだ。

③ 次に、小さいということが挙げられる。信号機の写真からも分かるように、発光ダイオードの一つ一つの大きさは、従来の白熱電球に比べてはるかに小さい。この小さいという特徴を生かして、携帯電話の着信ランプや携帯型ゲーム機の光源（バックライト）などに発光ダイオードが多く使われている。

④ これまでの電球式信号機では、およそ一年に一回電球を交換する必要があった。しかし、発光ダイオード式信号機の場合は、六年から八年に一回で済むと言われている。このように発光ダイオードには、寿命が長いという特徴もある。

⑤ 最後に発光ダイオードには、カラー発光する（特定の色の光を出す）という特徴がある。朝や夕方などに太陽の光が当たって、信号機が三色とも光って見えるという経験をしたことはないだろうか。これを疑似点灯現象（点灯していないのに点灯しているように見える現象）といい、これまでの電球式信号機に多く見られる現象であった。白熱電球は白色光のため、赤や黄色などの色のついたレンズをかぶせている。さらに反射鏡を利用することで、白熱電球の光を一方向に集め、信号機として使用している。この信号機に太陽の光が当たり反射すると、疑似点灯現象が起こる。一方、発光ダイオードは、カラー発光するので、色のついたレンズを使う必要はない。だから、点灯していない色までもついているように見えることは避けられる。このことにより、発光ダイオード式信号機は、交通安全に役立つという効果が期待されている。

【発光ダイオード】



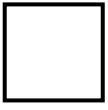
*上の発光ダイオードの全長は約35 mm、発光部は約9 mm。

⑥ 電車やバスの行き先表示板をはじめ、町の中や競技場のディスプレイなどにも広く使われるようになってきた発光ダイオード。克服しなければならない課題もあるが、今後ますます私たちの身近な存在になっていくだろう。

(注) フィラメント＝電球・真空管などの内部にあって電流を流し、光や熱電子を放出させる金属の細い線

一 文章【A】の1段落の役割について述べたものとして最も適切なものを、次の1から4までのなかから一つ選びなさい。

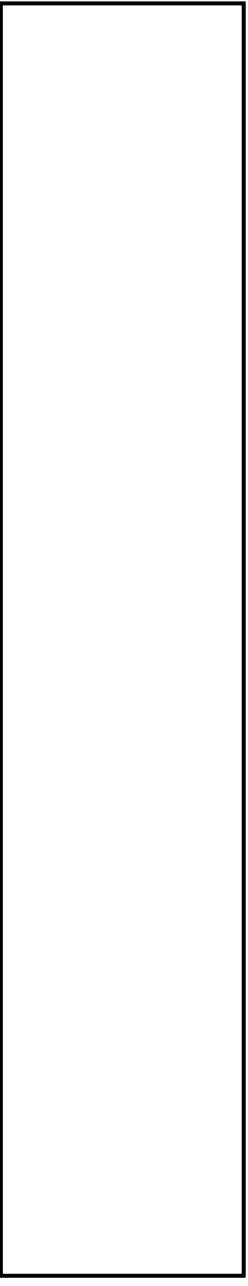
- 1 多くの具体例を挙げて、自分の考えを読み手に示している。
- 2 自分の主張を最初に述べ、解決策を読み手に提案している。
- 3 何について述べようとしているのかを、読み手に提示している。
- 4 複数の人の考え方を紹介して、読み手の興味を引き出している。



二 堀川さんは、発光ダイオードの特徴についてノートにまとめることにしました。文章【A】に書かれている発光ダイオードの特徴を、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

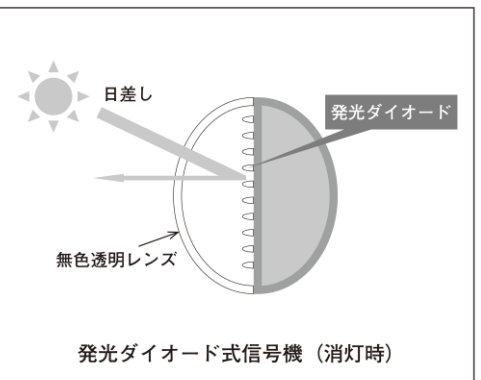
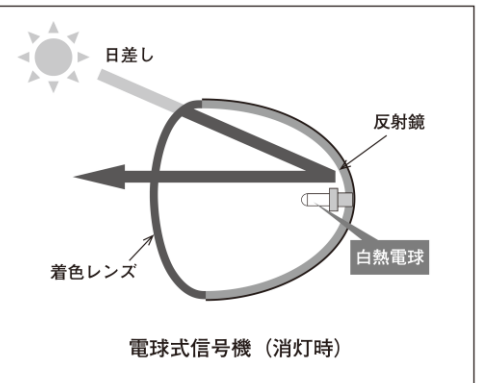
条件1 発光ダイオードが次世代の明かりとして注目されていることが分かる特徴を書くこと。

条件2 箇条書きで三つ以上書くこと。



三 堀川さんは、文章【A】で説明されている内容でよく分からないことがありました。さらに調べていく中で、次の図【B】を見付け、理解することができました。文章【A】で堀川さんが分からなかったことは何ですか。「くを防げるとはどういうことか。」に続くように、文章【A】の中から抜き出しなさい。

【B】



を防げるとはどういうことか。

三 山田さんと中川さんは、この文章で面白いと感じた点について話し合っています。次は、二人が【注目した表現】と【話し合いの一部】です。【話し合いの一部】で山田さんは、③と④には、共通したおもしろさがあるよね。」と発言しています。あなたは、③と④には、どのような共通した面白さがあると考えますか。あなたの考えを、「【注目した表現】③と【注目した表現】④には、「に」続けて、三十字以上、五十字以内で書きなさい。

【注目した表現】

① 皮を脱いで、肉を脱いで骨だけで涼みたいものだとい
ギリスのシドニー・スミスとかいう人が苦しがつたとい
う話がある

② 淡灰色の斑入りの毛衣だけはちよつと洗い張りでもす
るか、もしくは当分のうち質にでも入れたいような気が
する

③ なまで食ってしかるべきものをわざわざ煮てみたり、
焼いてみたり、酢に漬けてみたり、味噌をつけてみたり
好んでよけいな手数をかけてお互いに恐悅している

④ なにもあんなに雑多なものを皮膚の上へ載せて暮らさ
なくてもものだ

【話し合いの一部】

山田 ①は、猫なのに物知りで、
人間でもあまり知らないよ
うなことを知っているところ
が面白い。
中川 ②は、できるはずのない
ことを、その気になればで
きるかのように語っている
ところが面白いと思う。
山田 ③と④には、共通した面
白さがあるよね。



【注目した表現】③と【注目した表現】④には、

Handwriting practice area consisting of multiple vertical columns with dashed lines for writing.